

伊集院保健所感染症情報

2025年第24週（令和7年6月9日～令和7年6月15日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

定点把握感染症

管内流行発生警報発令中：咽頭結膜熱，A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

管内流行発生注意報発令：水痘

定点医療機関【インフルエンザCOVID2，小児科1，基幹定点1，ARI 2】

疾 患 名	警 報 基 準 値		注 意 報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第21週	第22週	第23週	第24週	先週からの増減	第23週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	127.00	165.50	162.00	110.00	↘	77.33	↗
インフルエンザ	30	10	10	0.50	0.50	0.00	0.00	→	0.51	↘
COVID-19	—	—	—	1.00	0.00	0.00	1.50	↗	0.65	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	4.00	3.00	2.00	1.00	↘	1.74	↗
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	11.00	13.00	9.00	10.00	↗	2.42	↘
感染性胃腸炎	20	12	—	6.00	2.00	2.00	1.00	↘	7.77	↗
水痘	2	1	1	1.00	1.00	0.00	1.00	↗	0.19	↘
手足口病	5	2	—	1.00	0.00	0.00	0.00	→	0.16	↘
伝染性紅斑	2	1	—	4.00	3.00	0.00	0.00	→	0.45	↘
突発性発しん	—	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.35	↘
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.16	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	1.00	1.00	→	0.26	↗
R S ウイルス感染症	—	—	—	2.00	0.00	0.00	0.00	→	0.45	↗
全数報告（カッコ内は本年の累積数）			百日咳3（15）							
※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし										

TOPIC

6月22日（日）～28日（土）はハンセン病問題を正しく理解する週間です！

ハンセン病問題に対する解決の促進を図るために，県では「ハンセン病問題を正しく理解する週間」を定めています。誤った隔離政策によって，強制的に隔離され，ご本人だけでなく，ご家族も偏見や差別を受け，多くの方々のかげがえのない人生が奪われました。

病気が治っても家族の元へは帰れず，社会復帰が難しい状況にあり，今もなお，多くの方々が，療養所での生活を余儀なくされています。

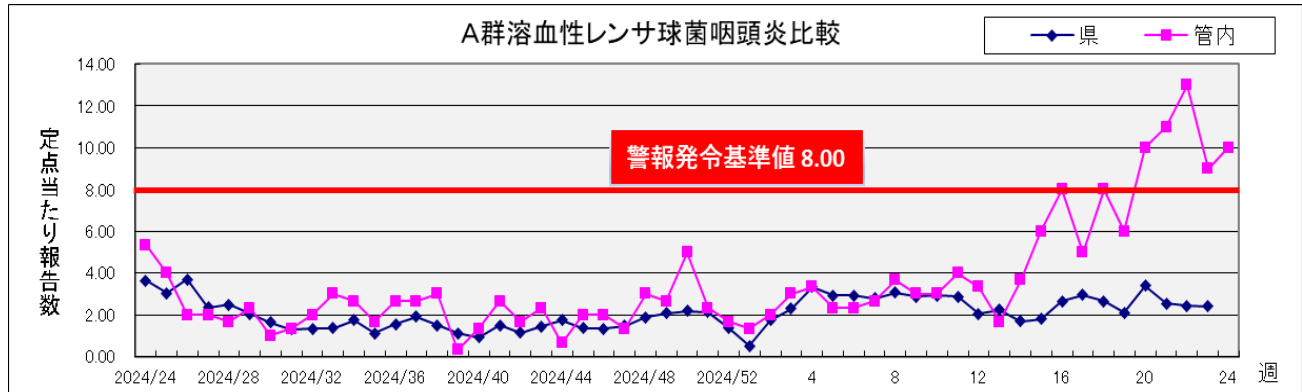
長い間，偏見や差別に苦しめられたハンセン病であった方々や家族が平穩に安心して生活できる地域づくりのために，また，二度とこのような悲しい歴史を繰り返さないために，私たち一人ひとりがハンセン病問題とは何かを正しく理解することが大切です。

*鹿児島県ホームページ「ハンセン病問題を正しく理解するために」をご覧ください。



● 注意すべき感染症

・ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎（流行発生警報発令中）



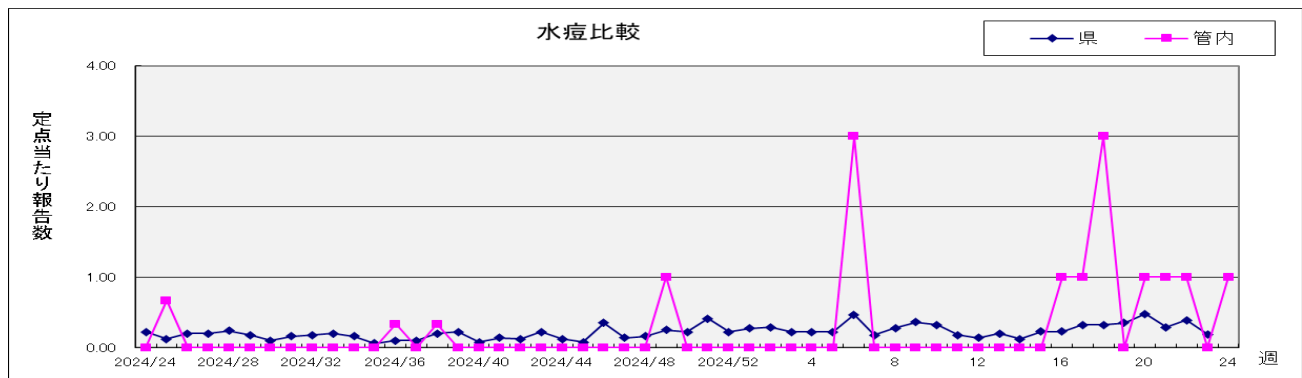
第 24 週の伊集院保健所管内における A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、10 人でした。年齢別では、5 歳・6 歳(各 2 人)、2 歳・3 歳・4 歳・7 歳・8 歳・10～14 歳(各 1 人)、の報告でした。

感染すると、2～5 日の潜伏期間を経て、突然の発熱や全身倦怠感、咽頭痛で発症し、舌が莓のように赤くザラザラとした状態になることもあります。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」が主な感染経路です。

患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

・ 水痘（流行発生注意報発令）



第 24 週の伊集院保健所管内における水痘の報告数は、1 人でした。年齢別では、7 歳（1 人）でした。

水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、これは水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる発疹性の病気です。感染から 2 週間程度の潜伏期間を経て発疹が現れます。臨床経過は一般に軽症で、倦怠感、掻痒感、38℃前後の発熱が 2～3 日間続く程度です。典型的な症例では、発疹は紅斑（皮膚の表面が赤くなること）から始まり、水疱（水ぶくれ）を経て痂皮化（かさぶたになること）して治癒します。

感染経路には、空気感染や飛沫感染、水疱の内容物との接触による接触感染などがあり、発疹が出現する 1～2 日前からすべての水疱が痂皮化するまで感染力があります。

予防方法としてはワクチン接種が推奨されています。周囲に患者がいる場合は、患者との接触を避け、手洗いを励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 6/9～6/15（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週の出席停止は、水痘が 1 人、流行性耳下腺炎が 1 人、百日咳が 1 人、溶連菌感染症が 1 人、マイコプラズマ感染症が 5 人、COVID-19 が 1 人報告されています。

自治体名	水痘（みずぼうそう）	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	百日咳	溶連菌感染症	マイコプラズマ感染症	新型コロナウイルス感染症
日置市	1	1	1	1	5	0
いちき串木野市	0	0	0	0	0	1
三島村	0	0	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0	0	0
計	1	1	1	1	5	1